

自己判断しながら学校生活を送ることができる生徒の育成 —校則を見直すための議題設定とICTの活用を通して—

特別研修員 生徒指導、教育相談 納谷 厚司（中学校教諭）

生徒の実態

・「校則＝ルール」という考えから、校則を守られているという意識が強い。

教師の願い

・生徒一人一人が自己判断をしながら、学校生活を送ることができるようになってほしい。

事前

計画委員の選定
問題を発見する
話し合いの内容の決定
個人意見書の作成

個人意見書

見直しが必要な校則

自分の考え
 必要がある
 必要がない
 班会議中のメモ

髪型について（長さ・髪型・縛る位置等）

理由
ツープロックは禁止になっているが、耳が出ていて清潔感がある髪型だと思う。また、主流な髪型になっていると思う。
 ピンの数。女子の髪を縛る位置。

つかむ

学級活動(2)
 【課題】中学生として大切なマナーやモラルについて考えよう(1学期)
 ○様々な職種の方々の服装の違いや心構えについて考え、中学生として大切なことを押さえる。

【生徒の意見】
 「中学生として大切な印象」ポイント
 ・真面目で礼儀正しい。
 ・メリハリをつける。
 ・けじめがある。
 ・身だしなみを整える。
 ・周りから見てよい印象。

手立て1 校則を見直すための議題の設定

学級活動(1)
 【議題】校則についてのクラスの意見をまとめよう(2学期)
 ○生徒手帳を参考にして、校則について見直しが必要な部分を一人一人が考え、その意見を基にクラスとしての見直し案をまとめる。

話し合いの基準となる



「中学生として大切な印象」を意識して校則について考えよう。

出し合う

手立て2 ICTを活用した話し合い活動と振り返り

・Google Jamboardで意見を共有、比較・検討し合意形成を図る。

1班	2班	3班	4班	5班	6班
お団子などにすれば涼しいから	女子の髪をしばる位置が耳より下だと、清潔そうじゃないから	一人一人の個性がなくなるため本校では髪型を自由にする。	授業に支障がない程度の長さなら髪型は個人の自由でいい	勉強の妨げにならない髪型や、髪の色を縛る位置等を自由にしてもいい。	自由な髪型でいいと思う
授業に支障がなければなんでもいい	授業に支障がない程度の長さなら髪型は個人の自由でいい	共通しているところ	共通しているところ	共通しているところ	共通しているところ
女子の髪を縛る位置	個人の判断で髪型を自由にしてもいい	共通しているところ	共通しているところ	共通しているところ	共通しているところ

個人意見書を基にした班の意見【抜粋】
 授業に支障がない程度の長さなら髪型は個人の自由でいい。

合意形成



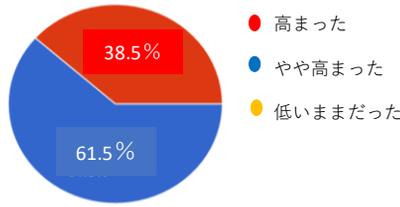
みんなの意見が見られて考えやすい。

クラスで決定した見直し案
 授業の妨げにならない程度なら髪型や髪の色を個人の判断に委ねてよい。

比べ合う

・Google Formsを使ったアンケート。

校則についての関心が高まった



これからは校則を意識して生活していきたい。

校則について深く考えることができた。

校則は学校生活にとって大切なものと改めて思った。

まとめる

事後

アンケートを実施

校則を意識することで、職場体験中のマナーを守って実践することができた。



職場体験中も、中学生としての自覚をもって行動することができた。

【目指す生徒像】自己判断しながら学校生活を送ることができる生徒

【成果】
 ○校則の見直しを行うことで、生徒は校則への意識が高まり、校則を自分事と捉えて、自己判断しながら学校生活を送ることができるようになった。
 ○ICTを活用して話し合うことで、意見の共有や比較・検討が容易になり、意見交流が活発になった。

【課題】
 ○校則の見直しについては、定期的かつ継続的に実践を行っていく必要がある。
 ○ICTを用いた比較・検討の方法を工夫するとともに、合意形成を効率的に行うためのICTの選定が大切である。